価値創造モデル

私たちはステークホルダーの皆様と培ってきた資本を適正に配分することで、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します。

価値創造の資源

グループを支える資源

財務資本
- 連結純資産　117,652百万円

製造資本
- 国内生産拠点　8拠点
- 海外生産拠点　4拠点

人的・知的資本
- 従業員数　3,237人
- 研究開発費　1,589百万円
- 産業財産権 出願件数　113件

社会関係資本
- 加盟団体数　349団体※1

【特装車事業】※1
- 指定サービス工場　461社
- 協力工場　1,022社
- 販売先　7,321社

【環境事業】
- 協力会社　329社

【パーキング事業】
- 協力会社　140社

自然資本
- 太陽光発電量　5,067,470kWh
- 水使用量　300,530㎥
- 総エネルギー使用量　431,578GJ

インプット

ビジネスモデル×サステナビリティ経営

社内外の状況

社会課題/SDGs

ステークホルダーのニーズと期待

グループの目指す姿

サステナブル社会の実現・発展に貢献する
業界をリードするグローバルな総合インフラメーカー

グループの強み

卓越した技術力・確固たる品質

ビジネスモデル

特装車事業
はたらくクルマと、ミライをつくる

環境事業
循環型社会の、ミライをつくる

パーキング等事業
モビリティ社会の、ミライをつくる

まちと暮らしのミライをつくる。

×

マテリアリティ

環境（E）
- 気候変動リスクへの対応
- 事業活動における脱炭素化の推進
- カーボンニュートラルに資する製品やサービスの展開
- 循環型社会への貢献
- 生物多様性への配慮

社会（S）
- 人権デューデリジェンスの実施
- 健康経営の推進
- 労働災害の撲滅
- ダイバーシティの推進（DEIBの実現）
- 地域社会への還元
- ワーク・ライフ・バランスの追求

ガバナンス（G）
- 経営人財の多様化
- 情報開示における有用性と信頼性の向上
- ISOマネジメントシステムを活用した効率的かつ効果的なリスク及び機会の管理
- 強靭な事業構造の構築
- コンプライアンスの徹底と救済プロセスの構築
- サプライチェーンマネジメントの実践

中長期ビジョン

長期経営ビジョン ― Kyokuto Kaihatsu 2030 ―

中期経営計画2022-24 ―*Creating The Future As One*―

アウトプット

社会課題を解決する製品・サービス

価値創造の成果（アウトカム）

ステークホルダーとつくる価値

財務資本
- 売上高　128,026百万円
- 営業利益　4,825百万円
- ROE　3.1%
- 総還元性向　98.6%

製造資本
- 設備投資額　11,410百万円

人的・知的資本
- 有給休暇取得率　77.4%
- 人事研修　一人あたり4.36時間
- 採用数（国内）における女性比率 17.4%
- 男性従業員による育児休業取得率　43.9%

社会関係資本
- サステナブル調達説明会の実施 約200社※2
- イベント協賛　33件
- 地域清掃・地域イベントへの参画 25件
- 募金・ボランティア　5件 約10百万円
- スポーツ・文化活動への支援　6件

自然資本
- CO_2排出量（原単位）2020年度比10%削減
- リサイクル率　97.8%

資本の再配分

※1 極東開発工業・日本トレクスの実績　※2 極東開発工業の実績